

|        |            |      |
|--------|------------|------|
| 方 面    | 最先任上級曹長会同  | (1面) |
| 1 師 団  | 春季演習場定期整備  | (2面) |
| 12 旅 団 | 春季演習場定期整備  | (3面) |
| 1 施設団  | 陸曹候補生等選抜試験 | (4面) |
| 東 混 団  | 団創立記念行事    | (5面) |



令和8年6月25日 第1097号

総監統率方針「強靱な東部方面隊の創造」  
総監要望事項「一隅を照らせ」

**陸上自衛隊東部方面隊広報紙**  
発行所：方面総監部広報室  
住 所：東京都練馬区大泉学園町  
専用線：8-37-2446

# 最先任上級曹長会同

## 最先任が成すべきこと

方面隊は5月26日・27日の両日、朝霞駐屯地において方面最先任上級曹長会同を実施した。

本会同は総監企図の徹底を図るとともに、方面施策説明、部外講師による「暑熱順化と水分補給の重要性」の教育及びディスカッションを実施し、

「WS（女性・平和・安全保障）」において最先任が着意すべき事項」を識できた。



方面最先任上級曹長による施策説明



総監訓話

と云える隊員に導くのが最先任であり、執念や信念をもって常にプロフェッショナルであれ」と訓話した。

ディスカッションでは「WS（女性・平和・安全保障）」において最先任が着意すべき事項」を識できた。

# 広報担当者集合訓練

## 理解度に応じた映像撮影訓練も

方面隊は5月20日から22日の間、朝霞駐屯地において、令和8年度第1回広報担当者集合訓練を実施した。

本訓練は各部隊広報班、駐屯地広報班及び地方協力本部広報班の広報業務担当者に対し、広報業務を遂行するにあたり必要となる知識の付与及び技能の向上を目的として行われた。

特に全体教育においては、広報、報道、情報発信等の各業務を円滑に遂行するための講義を実施するとともに、理解度に

成を含めた報道対応訓練の実習を行い、広報業務担当者としての練度を向上した。また陸自広報センターを研修して、広報館の運営状況等について理解を深め、部隊、駐屯地等における広報活動の資とした。

訓練の中で新着任の撮影担当者を対象に行われた映像撮影教育（初級）では、状況報告用、SNS投稿用、ポトレートなど、用途に合わせた撮影方法の他、集合写真のテクニックなど実務に直結する撮影方法を実技を交えて教育した。撮影経験者を対象とした中級クラスでは、東部方面シテム通信群写真真班の支援を受け、いかに被写体のバランスや配置などをセンスよく撮影するかを教育した上で、実技として動く被写体に合わせてカメラを動かし、低速シャッターで撮影する流し撮り技法や、各種映像撮影におけるカメラワークの実習を行った。

参加者からは「広報業務に係る根拠や規則、実務に直結する知識や技術を習得できた」「広報の意義・重要性を再認識した」「撮影技術が向上した」との感想があり、所望の成果をあげることができた。



全体教育



映像撮影教育（初級）



報道対応訓練

# 中堅事務官等集合訓練

## 知識・技能の修得図る



広報展示室の研修（市ヶ谷）

方面隊は5月25日から28日までの間、中堅事務官等集合訓練を、5月26日から29日までの間、新規採用者集合教育を実施し、計20人の防衛技官が参加した。

本研修は行政職（二）及び医療職（二）の中堅事務官等及び新規採用者等としての知識・技能の修得及び資質向上、並びに新規採用者としての職責の自覚及び基礎的知識の修得をそれぞれ目的としている。

朝霞駐屯地（医務室、糧食班等）や市ヶ谷地区（内局広報課、陸幕需品室等）研修では参加者からは活発に質問が寄せられた。また中堅事務官等は採用者確保及び離職防止に係る課題にグループで取り組み、問題解決能力の向上を図った。新規採用者は文書管理、情報保証等の講義を通じて、職務遂行に必要な基礎的知識を修得した。

さらに本研修を通じて防衛省職員としての心構えや防衛省の各種施策に対する理解を深めることができたとの所見も寄せられ、防衛技官としての意識の涵養を図るとともに、防衛技官同士の連携強化の好機となった。

# 東方ZEPPI N! カップ2026予選開催

## テーマは「隊員に喜ばれる麺料理」

投票は6月15日（7月31日）

東部方面管内34駐屯地の創意工夫を凝らした絶品の一杯が集結した。予選では隊員による投票が行われ、本選に進出する上位9種類が決定する。本選は10月から11月にかけて各駐屯地の隊員食堂で実施予定で、隊員の美食審査により3種類の最優秀献立が選ばれる。

駐屯地内の掲示ポスターに添付のQRコードから是非とも食べたい「麺料理」に投票して頂きたい。



第14回 東方 ZEPPI N! カップ 予選

麺No.1が決まる!



ひよこ隊員と記念撮影

陸上自衛隊広報センターは5月3日から6日までの間、GWイベントを実施し約5千人が来場した。大型車両体験試乗には約2千人が参加し、子供たちは試乗コース上に隠れている広報センターのキャラクターを探しながら楽しんでいました。また装備品展示コーナーでは警務隊の小型トラックとバイクを披露し、多くの来場者の関心を集めていた。特に白い塗装が施された警務隊車両は、自衛隊車両といえばOD色というイメージを持つ来場者にとって新鮮な印象を与えた。さらに迷彩服の試着体験を実施し、来場者は自衛官になりきって記念撮影を楽しむ様子が多く見られた。

広報センターは今後もさまざまなイベントを通じて、来場者の自衛隊に対する理解の促進を図っていく。

広報センター  
GWイベント  
5000人が来場





ショベルを使用した側溝の整備



ドーザによる路面整備



三角点標の改修



連接経路の路盤整備

## 第1師団 北富士演習場で春季定期整備 訓練基盤の維持向上に寄与

師団は4月16日から23日までの間、令和8年度春季北富士演習場定期整備を担任し、安全管理及び地域住民への配慮を徹底しつつ、作戦能力向上に資する訓練基盤の確立に寄与した。

本整備は第1普通科連隊長（篠部1佐）を整備隊長として師団隷下6個部隊、部隊訓練評価隊、東部方面特科連隊を含む計8個部隊で編成された北富士整備隊約1200人、車両約380両、施設機材約330台をもって整備に臨んだ。

機能向上整備においては地積約1500平方メートルに対し、ドーザにより路面を平らに整備し展開地

域を拡張した。また東富士演習場との連接経路に路盤整備を実施するとともに、軟弱地盤箇所に民生品の土工織物（ジオテキスタイル）を活用した沈下防止処置を施し、訓練部隊の攻撃要領の多様化に寄与した。

機能維持整備では、108力所の溜柵の清掃、

土の補修、転落防止ネットの設置及びU字溝の交換を実施し、排水設備機能の維持及び安全化を図った。また総距離104・6キロに及ぶ除草及び清掃を実施し、道路沿いの良好な視界を確保するとともに、側溝機能の改善に寄与した。さらに荒廃箇所の補修により道路

の安全確保を図った。訓練施設整備において15力所の除草、清掃及び停弾提3力所の整備を実施し、訓練基盤の機能維持に寄与したほか、弾着地域における不整地3力所の路面を平らに整備し、今後の機械力整備の効率化に寄与した。また弾着区域境界柵沿いの除草を実施し、野火の延焼防止を図った。さらに施設作業小隊指導のもと三

角点標を補給隊が改修し、施設作業能力を向上させることができた。

整備隊は危険予測に基づく安全管理を徹底し、危険箇所の見える化、連絡態勢の徹底及び現場で各部隊が作成した安全チェックリストを活用し、事故なく任務を完遂した。

師団は5月13日から14日の間、朝霞駐屯地において第1施設大隊長（安保2佐）を担任官として実施し、隊員の識能向上及び各種器材に対する理解の深化を目的として行われた。

訓練は座学及び実習に

含む必要な知識を付与した上で段階的に実施した。渡河・交通訓練では、渡河ポート及び偵察ボート上においてドローン操作を実施した。不安定な水上環境下における操作を通じ、隊員は状況に応じた機体操作要領及び安全管理要領を練成した。

また舷外機の操作要領についても反復して訓練を実施し、ボート機動に必要な技術の向上を図った。さらにリース器材及び

び装備品の油圧ショベルを使用し、瓦礫等を大型ダンブへ積載する訓練を実施した。隊員は器材ごとの特性を理解するとともに、安全管理事項を遵守しながら作業を行い、災害対処を含む各種任務への対応能力向上を図った。

本訓練を通じ隊員は、各種器材に対する操作能力及び応用力を向上させるとともに、部隊間の連携強化を図った。また民生品及び民間リース器材を活用した訓練により、多様化する任務への対応能力を高め、作戦遂行能力の向上に大きく寄与した。

築手順及び安全管理要領について理解を深めた。隊員は資材の特性を踏まえつつ、効率的な構築方法を検討しながら訓練の向上に努めた。

本訓練を通じ隊員は、各種器材に対する操作能力及び応用力を向上させるとともに、部隊間の連携強化を図った。また民生品及び民間リース器材を活用した訓練により、多様化する任務への対応能力を高め、作戦遂行能力の向上に大きく寄与した。

### 全日本銃剣道女子の部で第3位 日本武道館で熱戦

#### 日本武道館で熱戦

師団は4月19日、日本武道館において実施された第70回全日本銃剣道優勝大会に出場し、第1普通科連隊女子チームが女子の部において33チーム中第3位の成績を収めた。

大会は3人制で行われ、隊員は日頃の練成成果を遺憾なく発揮した。準決勝では普通科教導

連隊と試合し、先鋒及び中堅を終えて1対1の接戦となり、勝負は大将戦へとつれ込んだ。大将の中原士長は先に1本奪い優位に試合を進めたものの、その後相手に1本を返され判定1-2で惜敗した。しかしながら、最後まで果敢に攻め続ける姿勢は観客に強い印象を与えた。

選手は大会を振り返り「3人で心を一つにし、最後まであきらめずに戦い抜いた」と口を揃えた。また「今回得た経験と感覚を忘れず、個々の能力を高めながらチームとしてさらに団結し、次は優勝を目指したい」と今後の決意を述べた。

【栄光隊員の紹介】  
監督 土屋2曹  
先鋒 久保田士長  
中堅 野伏士長  
大将 中原士長

師団は部隊の士気高揚に資することを目的に、年度を通じて部隊の訓練・服務・検査等の隊務を総合的に評価して令和7年度隊務優秀部隊表彰を実施した。

4月23日に第32普通科連隊が、物品管理・補給を総合的に評価して令和

7年度隊務優秀部隊表彰を実施した。

4月23日に第32普通科連隊が、物品管理・補給を総合的に評価して令和

評価を獲得し、師団の隊務運営の質的向上に貢献する等で、5月13日に第1高射特科大隊が、各種検定実施率が約100%という高い水準で隊員各個の戦闘戦技能力の向上に努める等で、5月26日に第1特殊武器防護隊が、隊員自主募集の獲得200%以上を達成し、人的基盤の確保等で貢献した功績等により、それぞれ師団長から表彰を受けた。

## 施設合同訓練を実施 民生品活用し識能向上

師団は5月13日から14日の間、朝霞駐屯地において第1施設大隊長（安保2佐）を担任官として実施し、隊員の識能向上及び各種器材に対する理解の深化を目的として行われた。

訓練は座学及び実習に

含む必要な知識を付与した上で段階的に実施した。渡河・交通訓練では、渡河ポート及び偵察ボート上においてドローン操作を実施した。不安定な水上環境下における操作を通じ、隊員は状況に応じた機体操作要領及び安全管理要領を練成した。

また舷外機の操作要領についても反復して訓練を実施し、ボート機動に必要な技術の向上を図った。さらにリース器材及び

び装備品の油圧ショベルを使用し、瓦礫等を大型ダンブへ積載する訓練を実施した。隊員は器材ごとの特性を理解するとともに、安全管理事項を遵守しながら作業を行い、災害対処を含む各種任務への対応能力向上を図った。

本訓練を通じ隊員は、各種器材に対する操作能力及び応用力を向上させるとともに、部隊間の連携強化を図った。また民生品及び民間リース器材を活用した訓練により、多様化する任務への対応能力を高め、作戦遂行能力の向上に大きく寄与した。

築手順及び安全管理要領について理解を深めた。隊員は資材の特性を踏まえつつ、効率的な構築方法を検討しながら訓練の向上に努めた。

本訓練を通じ隊員は、各種器材に対する操作能力及び応用力を向上させるとともに、部隊間の連携強化を図った。また民生品及び民間リース器材を活用した訓練により、多様化する任務への対応能力を高め、作戦遂行能力の向上に大きく寄与した。



渡河ポート上におけるドローンの操作



リース器材を使用した瓦礫の積載



ボックスカルバートを活用した掩体構築

## 頭号師団の誉 隊務優秀部隊を表彰

師団は部隊の士気高揚に資することを目的に、年度を通じて部隊の訓練・服務・検査等の隊務を総合的に評価して令和7年度隊務優秀部隊表彰を実施した。

4月23日に第32普通科連隊が、物品管理・補給を総合的に評価して令和

評価を獲得し、師団の隊務運営の質的向上に貢献する等で、5月13日に第1高射特科大隊が、各種検定実施率が約100%という高い水準で隊員各個の戦闘戦技能力の向上に努める等で、5月26日に第1特殊武器防護隊が、隊員自主募集の獲得200%以上を達成し、人的基盤の確保等で貢献した功績等により、それぞれ師団長から表彰を受けた。



連隊の部、第32普通科連隊



大隊の部、第1高射特科大隊



直轄部隊の部、第1特殊武器防護隊



第12旅団

民生品活用の検証と実践

恒久的な訓練基盤への土台造り

旅団は5月11日から20日の間、関山・相馬原・大日原演習場において定期整備を実施した。

本定期整備は関山を第13普通科連隊、相馬原を第12施設隊、大日原を第30普通科連隊が担任し、施設技術班の指導のもと、施設科部隊以外の部隊にも形に残る整備項目を担任させた。施設機械力を主体とした整備で

は、大型草刈り機など民生品を活用した整備の省人化と演習場の恒久化を図った。訓練場拡張整備ではリ

ース品の林業機械のアタッシェメントを導入し、立ち木の伐木により整地を実施したほか、機動路の側溝整備においては排水用にプレスト管を敷設し暗渠化することで、機動路の拡張と荒天による排水時の路肩崩壊の防止を図った。これにより訓練時における人員・装備の安全な移動経路が確保できた。

相馬原演習場整備では、爆破訓練場や市街地戦闘訓練場等の整備を行った。爆破訓練場と手りゅう弾投擲場は12施設によりボックスカルバートと防弾ガラス付きカルバートが設置された。爆破訓練場は前回の定期整備に引き続いての整備であり、ボックスカルバートの増設し、狭小であった退避壕の問題を改善した

ほか、経年劣化していた退避壕への階段を木製からコンクリート製のU字溝に換え、作業の効率化と構築物の恒久化を同時に実現した。化学防護隊は12施設の指導のもと側溝整備を実施した。土のう作成などの技能を修練し、掘開後の壕の整地からプレスト管の固定及び埋設作業に続いて、作成した土のうで



ボックスカルバートを増設する12施設（相馬原）



プレスト管を敷設する12化防（相馬原）



防弾ガラス付きカルバート設置のための基礎作業をする12施設（相馬原）



連装銃行進射場の整地作業（関山）



リース品の伐倒・集積アタッチでの伐木



アルプスをバックにした観閲行進



レンジャー部隊による訓練展示

日向駐屯地司令は式辞において、長野県唯一の駐屯地として長きにわたる存在であることに誇り、周囲の理解と協力あつてのことと礼を述べ、現在の厳しい複雑な安全保障環境に触れ、日々の訓練に励み、いかなる任務にも即応し、職務を遂行する強靱な部隊を育成することが使命であり、記念行事のテーマとした。



晴天の下行われた観閲行進



装備品の装着体験をする来場者

記念式典において松下駐屯地司令は、歴史と伝統を継承しつつ時代の変化に対応し、今後も地域に信頼される駐屯地であり続ける決意を示した。行事では観閲行進や模擬戦闘訓練に加え、装備品展示のほか体験試乗なども行われた。特に新発田中央高等学校によるマーチング演奏が注目を集め、賑わいを見せた。



新隊員による市中パレード（新発田）



催涙剤訓練

にぎわう各地の記念行事

松本駐屯地創設76周年記念行事

松本駐屯地は4月20日、駐屯地創設76周年記念行事を実施した。式典には国會議員を

はじめ地元の首長や協力団体などの来賓のほか、好天に恵まれ県内外から約9700人が来場した。

日向駐屯地司令は式辞において、長野県唯一の駐屯地として長きにわたる存在であることに誇り、周囲の理解と協力あつてのことと礼を述べ、現在の厳しい複雑な安全保障環境に触れ、日々の訓練に励み、いかなる任務にも即応し、職務を遂行する強靱な部隊を育成することが使命であり、記念行事のテーマとした。

新発田駐屯地開設73周年記念行事

新発田駐屯地は4月26日、駐屯地開設73周年及び第30普通科連隊創設64周年記念行事を実施した。

記念式典において松下駐屯地司令は、歴史と伝統を継承しつつ時代の変化に対応し、今後も地域に信頼される駐屯地であり続ける決意を示した。

行事では観閲行進や模擬戦闘訓練に加え、装備品展示のほか体験試乗なども行われた。特に新発田中央高等学校によるマーチング演奏が注目を集め、賑わいを見せた。

■新発田駐屯地  
▽消灯・起床時間が決まっているため、とても健康的な生活になりました。起床時間も早いから、朝ご飯も早く食べられるようになった。  
▽努力を継続することに對しての考え方が変わりました。自分のコンディションが悪い状態であっても規律のあ

り続ける決意を示した。行事では観閲行進や模擬戦闘訓練に加え、装備品展示のほか体験試乗なども行われた。特に新発田中央高等学校によるマーチング演奏が注目を集め、賑わいを見せた。



射撃訓練

■相馬原駐屯地  
▽一つのことを継続するということが苦手だったが、体力錬成を行い、自分自身の外見や能力の向上が目に見えてわかってきた。  
▽時間に対しての意識や、自分の身の回りへの統制を心がけることで規律のあ

る生活ができ、社会人としての自覚が芽生えた。  
■松本駐屯地  
▽32歳で入隊したことで、入隊後は孤立してしまっているかと思いましたが、同期の皆がとてもフレンドリーに接してくれているので楽しく過ごせている。  
▽23歳での入隊で、自分がハーフであるということもあり、最初はいろいろ不安もあったが、皆そんなこと関係なく接してもらって、充実した生活を送りエネルギーになった。

■高田駐屯地  
▽20才で入隊したため、周囲との年齢差があつて不安だったが、関係なく楽しく過ごすことができています。  
▽教官はとても怖いものだが、というイメージしかなかったが、厳しさと優しさにメリハリがある方たちばかりで良かった。

頑張れ！自候生

3月より始まった自衛官候補生の教育も中盤に差し掛かり、教育当初はぎこちなかった基本教練も見違えるほど節度ある動きになり、その表情からは自信も伺えるようになった。日々の訓練や仲間との生活を通じて、自衛官としての行動だけでなく、それぞれの心境の変化が生まれてきた様子が垣間見える。

今号では各教育隊で過ごす自衛官候補生の入隊前と入隊後ひと月を経過した現在の自身の感じた成長や変化を紹介する。

■新発田駐屯地  
▽消灯・起床時間が決まっているため、とても健康的な生活になりました。起床時間も早いから、朝ご飯も早く食べられるようになった。  
▽努力を継続することに對しての考え方が変わりました。自分のコンディションが悪い状態であっても規律のあ

り続ける決意を示した。行事では観閲行進や模擬戦闘訓練に加え、装備品展示のほか体験試乗なども行われた。特に新発田中央高等学校によるマーチング演奏が注目を集め、賑わいを見せた。

■相馬原駐屯地  
▽一つのことを継続するということが苦手だったが、体力錬成を行い、自分自身の外見や能力の向上が目に見えてわかってきた。  
▽時間に対しての意識や、自分の身の回りへの統制を心がけることで規律のあ

る生活ができ、社会人としての自覚が芽生えた。  
■松本駐屯地  
▽32歳で入隊したことで、入隊後は孤立してしまっているかと思いましたが、同期の皆がとてもフレンドリーに接してくれているので楽しく過ごせている。  
▽23歳での入隊で、自分がハーフであるということもあり、最初はいろいろ不安もあったが、皆そんなこと関係なく接してもらって、充実した生活を送りエネルギーになった。

■高田駐屯地  
▽20才で入隊したため、周囲との年齢差があつて不安だったが、関係なく楽しく過ごすことができています。  
▽教官はとても怖いものだが、というイメージしかなかったが、厳しさと優しさにメリハリがある方たちばかりで良かった。







東部方面混成団

# 感謝とともに「水晶から貴石へ」 団創立15周年記念

混成団は5月23日、武山駐屯地において東部方面混成団創立15周年記念行事を開催した。

「感謝とともに「水晶から貴石へ」をテーマにした同行事は、15周年に至るまで「水晶」のように純粋で固い信頼の絆により支えて頂いた皆様に対する「感謝」と、将来の長きにわたり「貴石」のようなさらに固く輝き続ける絆へと昇華させ、ともに「発展して行けることを祈念して行われた。

国会議員、各首長、各議会議員をはじめ、日頃混成団と関係の深い各後援会や即応予備自衛官の雇用企業、在日米陸海軍関係者並びに関係部隊を招待するとともに、今年の春入隊した新隊員御家族の参加を得て約800人の来場者が訪れた。

式典は混成団長 高野一 等陸佐を執行者とし、観閲部隊指揮官は副団長 西田一等陸佐が務め、整然と並んだ部隊をもって、創立15周年という節目を迎えた混成団の威容を示した。

式典では執行者による巡閲、執行者式辞、来賓祝辞及び来賓・感謝状受賞者の紹介が行われ、執行者式辞では支えて頂いた皆様に対する感謝の意



執行者による巡閲



堂々と整列した観閲部隊



FH-70による迫力の空砲射撃



高工生による音楽演奏

音楽演奏では陸上自衛隊の行進曲である「陸軍分列行進曲」が演奏され、その重厚な音色に観衆を魅了していた。

続いて行われた訓練展示では高工校吹奏楽部による音楽演奏から始まり、女性自衛官教育隊及び第117教育大隊の新隊員による自衛隊体操展示のほか、第48普通科連隊による模擬戦闘展示が行われた。

音楽演奏では陸上自衛隊の行進曲である「陸軍分列行進曲」が演奏され、その重厚な音色に観衆を魅了していた。続いて行われた訓練展示では高工校吹奏楽部による音楽演奏から始まり、女性自衛官教育隊及び第117教育大隊の新隊員による自衛隊体操展示のほか、第48普通科連隊による模擬戦闘展示が行われた。

48普通連による模擬戦闘展示では、陣地攻撃の場面においてドローンを用いた空中偵察、東部方面特科連隊の「F-H・70」による大迫力の空砲射撃をはじめ、迫撃砲分隊と一体となった制圧、東部方面航空隊第11飛行隊の「AH-1S」による近接航空支援が行われ、突入部隊による敵の掃討によって状況終了を迎えた。目の前で繰り広げられた迫力の模擬戦闘展示は各支援部隊との協

同による訓練成果を遺憾なく発揮し、部隊の実力と威容を示した。すべての戦闘展示が終了したあとは、模擬戦闘で使用した装備品の展示も行われ、本行事は盛況のうちに終了した。平成23年の新編から15年の節目を迎えた混成団は、今後も各種任務を着実に遂行するとともに、部隊の原動力たる准曹士の育成に尽力していく。

自衛隊体操では女性自衛官教育隊と第117教育大隊の新隊員が気合いに満ちた声と共に全力疾走で入場してくると、その迫力に観衆からは思わず驚嘆の声が漏れていた。若々しさと気力に満ち、統制のとれた力強い自衛隊体操の展示を終え、観衆から大喝采の拍手が送られ、日頃の訓練の成果を誇る声が聞かれた。

同による訓練成果を遺憾なく発揮し、部隊の実力と威容を示した。すべての戦闘展示が終了したあとは、模擬戦闘で使用した装備品の展示も行われ、本行事は盛況のうちに終了した。平成23年の新編から15年の節目を迎えた混成団は、今後も各種任務を着実に遂行するとともに、部隊の原動力たる准曹士の育成に尽力していく。

東部方面混成団  
公式Xはこちら！  
陸上自衛隊【東部方面混成団】公式  
@EACB\_takeyama  
たくさんのフォロー  
お待ちしております！

東部方面混成団  
インスタ始めました！  
フォローお待ちしております！



AH-1Sによる迫力の航空支援



敵の掃討のため突入する48普通連



身体の動きの限界「生理的極限」を追求して行う新隊員による自衛隊体操



## 総監部人事部募集課 募集ニュース

### 角川ドワンゴ学園磁石祭2026 来場者4万人に自衛隊をPR

4月25日・26日の両日、幕張メッセにおいて実施されたニコニコ超会議2026イベント内、角川ドワンゴ学園の文化祭（磁石祭2026）に方面隊としてブースを出展し、総監部募集課、東京・神奈川・千葉・群馬・茨城・栃木地方協力本部が参加した。

会場内の自衛隊ブースでは缶バッジ制作、空挺リュック装着体験、自衛隊クイズ等の各コーナーをスタンブラー形式で実施した。また各コーナーに参加した来場者には記念グッズをプレゼントした。広報官と学園生とが共同で運営にあたり、来場者だけでなく学園生にもイベントを楽しんでもらうことができた結果会場は大いに賑わい、盛況なブースとなった。

また各地本のマスコッを活用した広報活動を、最終日には「学園ステージ」での地本マスコットと広報官による自衛隊紹介「磁石祭2026」の自衛隊CM放映「学園が運営する校内向け配信サイト上での自衛隊広報

記念グッズをプレゼントした。広報官と学園生とが共同で運営にあたり、来場者だけでなく学園生にもイベントを楽しんでもらうことができた結果会場は大いに賑わい、盛況なブースとなった。

また各地本のマスコッを活用した広報活動を、最終日には「学園ステージ」での地本マスコットと広報官による自衛隊紹介「磁石祭2026」の自衛隊CM放映「学園が運営する校内向け配信サイト上での自衛隊広報



広報官と学園生が共同で運営した自衛隊ブース



地本マスコットと広報官による自衛隊紹介



大盛況の自衛隊ブース



学園生と記念撮影



特科連隊

# 大隊戦技競技会 各種戦技能力の向上

東部方面特科連隊第1大隊は4月2日から7日までの間、今年度予定されている野戦特科部隊等射撃訓練、方面隊訓練検

東部方面特科連隊第1大隊は4月2日から7日までの間、今年度予定されている野戦特科部隊等射撃訓練、方面隊訓練検

競技会、射撃に係る一連の行動で競う戦砲隊競技会、自己・目標位置の決定精度及び速度で競うF O競技会において各中隊がそれぞれ競った。

緊張感が漂う中、参加各中隊は丸となり、計画的かつ段階的に積み上げてきた練成成果を遺憾なく発揮するとともに、

野戦特科部隊等射撃訓練及び方面隊訓練検閲に向けた課題を明らかにする等、所望の成果を獲得し、競技会を終了した。

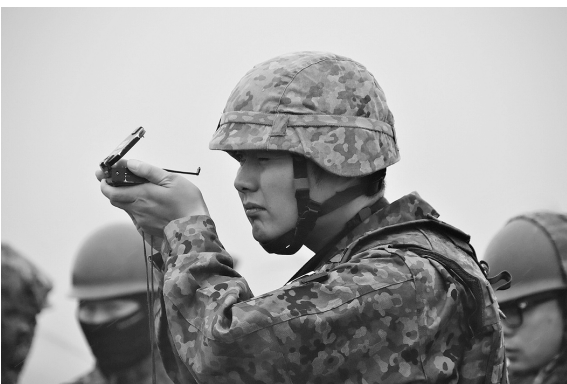
F D C競技会陸士の部で見事優勝した第1大隊第3中隊久保田士長は、「日頃の練成成果を十二分に発揮することができた。指導してくれた陸曹

の方に感謝したい」と喜びを語った。

東部方面特科連隊は方面隊における火力戦闘の骨幹部隊として強靱な東部方面隊の創造に寄与するため、今回の競技会で得た教訓・成果を踏まえ、「日頃の練成成果を十二分に発揮することができた。指導してくれた陸曹

と歓声が上がっていた。地上では航空機や防災装備品の展示が行われ、自衛隊機はもちろん、警視庁、消防庁、さらには民間のセスナ機までが多数並び、多くのファンがカメラを向けた。また売店ではおいしいグルメや限定のミリタリーグッズを買い求める人々で長蛇の列ができた。

家族連れで賑わうことも広場では、ストラックアウト、ミニ制服の試着



目標位置を測定するF O競技会



射撃に係る一連の行動で競う戦砲隊競技会



射撃諸元を算定するF D C競技会

【F D C競技会】  
○ 陸曹の部  
1大隊1中 山澤3曹  
○ 陸士の部  
1大隊3中 久保田士長  
【戦砲隊競技会】  
1大隊1中 第一砲班  
【F O競技会】  
1大隊3中 柳瀬3尉



ヘリコプターを撮影する来場者



来場者と触れ合う隊員



東部方面音楽隊と中高生の合同演奏

体験、オリジナル缶バッジ作成などが行われ、子供たちの笑顔が弾けた。さらに毎年箱根駅伝予選会の舞台としても知られる広大な滑走路では大型トラック試乗体験も実施され、参加者は普段入れない場所からの景色を大いに楽しんでいた。

会場では東部方面音楽隊が地元の中高生と合同演奏を披露し、美しい音色と力強いパフォーマンスがイベントに華を添え、観客を魅了した。

航空隊は今回の行事を通して、来場者へ災害に対する関心を高めるとともに、陸上自衛隊の防災への取り組みに対する理解を深めることができた。地域そして国民との確かな信頼関係を、さらに強固なものにする充実の日となった。

シ通群

# 陸曹候補生選抜2次試験 熱意を持って育成、未来へ思いを継承



口述試験に臨む受験者



自己記録の更新を目指し全力疾走

東部方面システム通信群は5月12日から5月14日までの間、朝霞駐屯地において方面管内に展開する各部隊の受験者に対して令和8年度前期第150期選抜2次試験を実施した。

1次試験を突破して2次試験を受験する隊員は、士気旺盛な態様で試験委員長の副群長に対して受験申告を行い、終始、真摯な姿勢で試験に臨んでいた。

体力検定では季節外れの暑い中ではあったが、応援に駆け付けた先輩後輩らを前にその声援に応え、これまで

の厳しい練習に裏打ちされた、あきらめない強い気持ちで臨み、自分の限界に挑戦していた。

また口述試験では、やや緊張した面持ちではあったが、自分自身の想い描く陸曹像、陸曹昇任への熱い意気込み等、覇気のあるしつかりした口調で面接官に伝えていた。

さらに術科試験においては分隊教練の場面をとらえた分隊長としての指揮動作を検討したところ、指揮の要訣が実践され、練成の成果が遺憾なく発揮されていることを確認した。

本試験に全力で臨んだ



燃料給油を実施する隊員



ダンプのクラッチ交換の場を活用した特技練成

隊の後方支援ニーズに対応するため、第102施設直接支援大隊を中心に後支隊隷下部隊の隊員をもって整備支援隊を編成し、本定期整備に対する各種支援を実施した。

特に整備支援においては、90件に及ぶ整備所要に即応し、故障器材の早期復旧に努めるとともに、技術援助や積極的な巡回整備を実施して、被支援部隊装備品の高可動維持に寄与した。また整備支援の場を活用し、若年隊員に対する特技練成訓練を実施して、練度を維持向上させた。

その他、第103補給大隊は燃料交付所を開設し、約2万6千リットルの燃料補給を実施して、定期整備の任務達成に貢献した。また東富士演習場機能の維持・向上及び長期安定に寄与するため、東富士整備隊に所要の人員・装備を差し出し、演習場の主要幹線道路の維持補修作業を実施する等、第1施設団が担任する演習場定期整備の任務達成に貢献した。

後方支援隊は引き続き、被支援部隊の任務達成のため日々支援を実施するとともに野外における後方支援能力の向上を図り、被支援部隊を支えていく。

後支隊

# 支える力を最大限に発揮 演習場定期整備を積極支援

東部方面後方支援隊は4月8日から16日の間、東富士演習場で実施された春季東富士演習場定期整備に際し、第1施設団を基幹部隊とした11個部隊の後方支援を実施した。



## 東京地本

# 横田基地の日米友好祭で自衛隊をアピール ブルーインパルス現役パイロットと交流

自衛隊東京地方協力本部は5月16日・17日の両日、横田基地において開催された「令和8年度日米友好祭」に参加し、広報活動を実施した。

日米友好祭は日米の友好的なパートナーシップを祝うとともに、基地と地域住民との交流を深めることを目的としたイベントであり、自衛隊の活動内容や社会的役割、魅力を紹介する機会となった。

当日は好天に恵まれ、多くの来場者が米軍機及び自衛隊機の地上展示や飛行展示を楽しんだ。東京地本広報ブースでは、制服試着体験、VR体験及びカラボン抽選会

を実施し、2日間で約4千人が来場し、両日とも多くの来場者でにぎわった。

また初の試みとして、ブルーインパルスの現役パイロットによるトークショーを開催。会場には入りきれないほどの観客が集まり、高い関心が寄せられた。

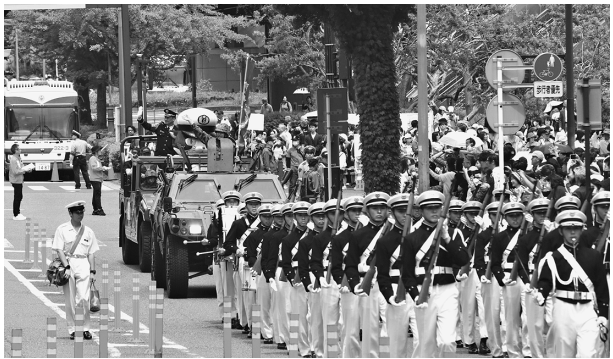
「空の向こう側の普通」をテーマに、幼少期の思い出や勤務中のエピソードなどを交えながら、夢を持ち続けることの大切さや、目標に向かって努力を積み重ねることの意義について紹介した。

パイロットは決して特別な存在ではなく、努力の先にその道があることを語り、会場は終始和やかな雰囲気包まれた。観客からは「将来パイロットになりたい」「普段見ることのできない一面を知ることができた」「親しみやすさを感じた」などの声が聞かれた。

イベント期間中は開始から終了まで盛況を呈し、自衛隊に対する理解促進の一助となった。

東京地本は今後も自衛隊に関心を持つ方々の視点に立った各種広報イベントを企画し、自衛隊への理解促進及び募集基盤の拡充に努めるとともに、自衛官を志す人材の裾野拡大に向けた広報活動を推進していく。

## 神奈川地本 横浜の街を威風堂々とパレード 沿道からは拍手と感謝の歓声



自衛隊神奈川地方協力本部横浜地区の横浜出張所、市ヶ尾募集案内所、上大岡募集案内所及び横浜中央募集案内所は、5月3日に開催された横浜開港記念みなと祭「ザよこはまパレード」に参加し広報活動を実施した。

本イベントは、ゴールデンウィーク期間中の横浜を代表する恒例行事として毎年開催されているもので、74回目となる今回は、横浜市の花である「バラ」の花言葉をテーマに実施された。当日は好天に恵まれ、多くの来場者が沿道に詰めかけた。パレードでは横浜にゆかりのある楽曲に合わせ、総勢63団体、2824人が各ステージカラーのパラを身に付けて横浜の街を歩き、祭りを盛り上げた。

神奈川地本は自衛隊に対する理解と認識の向上を目的として、防衛大学校の儀仗隊及びドラム隊を先頭に、第31普通科連隊の車両2両の支援を受けて隊列を編成。山下公園前から横浜赤レンガ倉庫前、万国橋、馬車道商店街、伊勢佐木町1丁目及び伊勢佐木町6丁目までの約3.5kmを威風堂々と行進した。また行進を通じて自衛隊の規律正しさや団結力を広くアピールする機会となった。（写真）

沿道からは盛大な拍手が送られるとともに、日頃の自衛隊活動に対する感謝の言葉や、神奈川地本マスコットキャラクター「はまちゃん」への声援が数多く寄せられた。隊員らも笑顔で応え、地域との交流を深めた。

主催者発表によれば、来場者数は前年を上回る約43万人に達し、会場一帯は大いに賑わいを見せた。

神奈川地本は今後も地域との交流機会を積極的に創出し、自衛隊の活動に対する理解と協力の促進に努めるとともに、地域に根差した広報活動を推進していく。

## 群馬地本

# 自ら考え行動する力 いざという時に備えて

自衛隊群馬地方協力本部は5月17日、イオンモール太田において開催された「OTA いざ活フェスタ」に参加した。本イベントは、災害時に地域の子供たちが自ら考え行動する力を養うとともに、地域の課題に触れること

で将来起こり得る災害への意識を高めることを目的として開催されたものであり、会場には多くの来場者が訪れた。

会場では警察、消防、市役所及び自衛隊の各ブースにおいて、防災に役立つ体験を行うスタンプラリーを実施した。

自衛隊群馬地方協力本部は5月23日、小山運動公園野球場で実施された「NPB 交流戦の一環として開催されたもので、「BLACK」をテーマに球場全体の一体感を高めるさまざまな企画が実施され、自衛隊ブースでは募集広報ブースの開

設、装備品展示、迷彩服試着及び記念撮影を行い、自衛隊の活動や魅力を紹介した。

特に12高射が展示した93式近距離地对空誘導弾及び高機動車は、来場者の注目を集めた。普段身近に見る機会の少ない装備品を背景に、陸海空各自衛隊の迷彩服を着用して記念撮影を楽しむ姿が見られた。

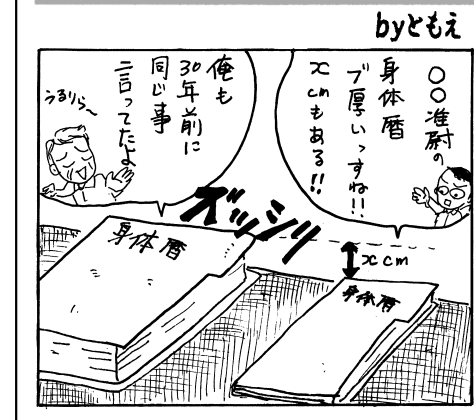
また特別企画として実施された栃木ゴールデンブレブスと栃木地本によるコラボノベルティグッズの配布も好評を博し、自衛隊ブースは終日多くの来場者で賑わった。

栃木地本は今後も各種地域イベントへの積極的な参加を通じて、自衛隊に対する興味・関心及び理解の促進に努めるとともに、自衛隊をより身近に感じてもらうための広報活動を推進していく。

## 栃木地本

# 地域イベントで自衛隊をPR 球団創立10周年イベントに参加

## ある！ある！自衛隊



熱心にロープワークに取り組む参加者

自衛隊群馬地方協力本部は5月17日、イオンモール太田において開催された「OTA いざ活フェスタ」に参加した。本イベントは、災害時に地域の子供たちが自ら考え行動する力を養うとともに、地域の課題に触れること



会場を一緒に盛り上げたチアリーダーと記念撮影

は募集広報ブースの開設、装備品展示、迷彩服試着及び記念撮影を行い、自衛隊の活動や魅力を紹介した。

特に12高射が展示した93式近距離地对空誘導弾及び高機動車は、来場者の注目を集めた。普段身近に見る機会の少ない装備品を背景に、陸海空各自衛隊の迷彩服を着用して記念撮影を楽しむ姿が見られた。

また特別企画として実施された栃木ゴールデンブレブスと栃木地本によるコラボノベルティグッズの配布も好評を博し、自衛隊ブースは終日多くの来場者で賑わった。

栃木地本は今後も各種地域イベントへの積極的な参加を通じて、自衛隊に対する興味・関心及び理解の促進に努めるとともに、自衛隊をより身近に感じてもらうための広報活動を推進していく。

## 訓練所感

東部方面衛生隊  
第102野外病院隊  
高橋 一輝 3等陸曹

4月に勝田演習場で実施された東部方面衛生隊の第1回隊統制訓練では、本格的陸上作戦における移動・展開の練度向上を目指し、第102野外病院隊第1小隊は、丸ごと訓練に励んだ。

1小隊は手術機能を有する野外科手術システム車（FSV）の運用を担っている。そのため野外における迅速かつ確実な展開が求められる。

特に不整地におけるFSVの展開、FSVに連結する天幕の展張及びその

「はまちゃん」への声援が数多く寄せられた。隊員らも笑顔で応え、地域との交流を深めた。

主催者発表によれば、来場者数は前年を上回る約43万人に達し、会場一帯は大いに賑わいを見せた。

神奈川地本は今後も地域との交流機会を積極的に創出し、自衛隊の活動に対する理解と協力の促進に努めるとともに、地域に根差した広報活動を推進していく。



本訓練を通じて、野戦環境下における施設開設の基本基礎技術の重要性和小隊全体で連携して任務を遂行することの大切さを改めて実感した。

今後も反復訓練を重ね、いかなる環境下においても迅速かつ確実に任務を遂行できるよう、知識及び技術の練度向上に努める。



# 最先任 上級曹長

## 「楽しむ」 第1普通科連隊 川越 健 准陸尉

令和8年3月16日付で、第1普通科連隊の第8代最先任上級曹長を拝命しました川越准尉です。

第1普通科連隊は全国に多くある普通科連隊の中でも、筆頭番号を冠する歴史と伝統ある文字通

りの「頭号連隊」です。

首都防衛の要として歩んできた誇り高き部隊の最先任上級曹長という職



責を賜り、光栄に思うとともに、身の引き締まる思いです。当初は、その重責に押しつぶされそうにもなりましたが、今で

は自分にしかできない役割と捉え、前向きに「楽しむ」心持ちで勤務をしています。ここで言う「楽しむ」とは、決して

楽をするという意味ではありません。重圧や困難をやりがいに変え、自らの成長の糧として向き合うということです。明る

く前向きに任務に挑む姿がありませぬ。重圧や困難をやりがいに変え、自らの成長の糧として向き合うということです。明る

く前向きに任務に挑む姿がありませぬ。重圧や困難をやりがいに変え、自らの成長の糧として向き合うということです。明る

## オピニオン 一言申上げる 東方オピニオンリーダー会 会長 古城 環



令和5年度に立川駐屯地より推薦いただき、オピニオンリーダーを拝命しております。4年目となる本年度は会長に就任いたしました。普段はア

ニメーション制作会社、スタジオジブリで映像編集や音響音楽制作、劇場で上映するマスターを制作する部署で働いており

ます。日頃から自衛隊の皆様には日本の防衛のために多大なるご尽力いただき、感謝の念に堪えません。私は昨年の令和7年7月に久石譲×ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽

団スタジオジブリフィルムコンサート ツアーファイナル in 東京ドームでは陸海空音楽隊（陸上自衛隊東部方面音楽隊、第1音楽隊、海上自衛隊東京音楽隊、航空自衛隊航空中央音楽隊・中部航空音楽隊）約160人に

計3公演約13万人の観客に自衛隊の音楽隊が紡ぎ出す素晴らしい音楽を、お届けすることができました。主催者でもある作曲家の久石譲さんからは「2017年から9年、世界22カ所で多くのマ

チングバンドと演奏してきましたが、日本の自衛隊音楽隊の演奏が1番上手かった」との談話もいただいております。その中で私は主催者と防衛省自衛隊の間で各種調整を務めさせていただきまし

た。関係した方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。残り約1年間という限られた活動期間しか残されておられません。また隊員の処遇や待遇改善の為に各防衛諸団体等と協力し

より一層実りのある活動していきたいと思います。自衛隊の魅力を伝えるの

# 「女性活躍の先駆として」 女性自衛官教育隊 高橋 菜津 3等陸曹

今月のフェアレディーは女性自衛官教育隊第2共通教育中隊に所属して

いる広島県広島市出身の高橋3曹です。

Q 入隊の動機は？  
実家の近くに駐屯地があったことにより自衛隊という存在を知り、高校卒業後、予備自衛官補、そして予備自衛官になりました。その時、お世話になった班長がとても親身になって指導してくれ

て、班長みたくになりたいと思います。常備自衛官への入隊を決意しました。

Q 現在の職種とその職種を希望した理由は？  
普通科職種です。新隊員の班長が普通科で、班長のようになりたいと希望しました。

Q これまでで最も思い出深い出来事は？  
東日本大震災の災害派遣に従事したことです。震災発生時は入隊2年目でほとんど何も分からない

状態でしたが、現地に派遣され、入浴支援を通じて被災者の方々と接する機会が多々ありました。その時に被災者の方々から感謝の言葉をいただき、自衛隊という職業の重要性や国民の皆さんからの信頼を強く感じることができました。

Q 普段行っている業務とその業務の魅力は？  
新隊員課程及び陸曹候補生課程の助教として勤務しています。学生に教育する中で、私自身も考え方や指導の在り方について深く考える機会が多々あり、自分自身も成長できるところが魅力の1つです。

Q 最後に一言  
新隊員課程、陸曹候補生課程どちらも多様な人材が入校してくることで、または初級陸曹とし

て、必要な資質・識能を修得できるよう教育するのはもちろんのこと、性別等にこだわらない、相手を尊重する、自分の発言に責任を持つ等、どんな社会でも生き抜ける人材育成に今後も励んでまいります。

Q 自衛隊に入隊したきっかけは？  
父が自衛官ということもあり自衛官という職業が幼いころから身近な存在でした。テレビから「自衛隊」というフレーズが流れてくると自然と耳目が反応してしまうよ

うな感覚があります。その中でも特に印象的だったことは、小学2年生の時に東日本大震災が発生した際、テレビに映る自衛官の姿であり、迷彩服が輝いて見えたことを今でも覚えています。思い返せばその頃には自衛官になりたいという意識が芽生えていたのかもしれ

ません。Q なぜ航空科を選んだ  
休日の過ごし方は？  
ゴルフにダーツ、飲み

Q 今後の目標は？  
仕事の目標としては、回転翼のパイロットを目指して航空操縦学生を受験し、新たな境地を見出したいと考えています。趣味については、ゴルフのスコア100切りを目指したいです。

Q 魅力的な言葉  
地域の桜祭り、プロレス団体が試合を開催していました。間近で見るとプロレスは迫力があり、生憎の雨でしたが、子供は食い入るように見ていました。試合に勝ったレスラーが、子供たちに『本物の馬鹿になりたい奴はいるか？』と問いかけていました。話は変わりますが、サッカー界のレジェンド三浦知良選手は、イチロー選手のことを『変態』と語っています。『本物の馬鹿』『変態』はその言葉だけ切り取るとあまり聞かぬ良い言葉ではありませんが、『本物の馬鹿』になりたい奴はいるか？』との問いは、身体的にも辛く、業界でみると生活環境も恵まれていないプロレスラーになりたいたい『本当にも好きな奴』はいるかとの問いでした。『変態』は、ちょっと気が緩む場面でも自分を律し、批判も恐れず一貫してやり抜くことができる変態の域にある覚悟を携えていることを言っています。どちらもコアな領域に達した人々の誉め言葉として使われており、物凄く『魅力的な言葉』に感じます。継続していれば、何かを成し遂げられるのかというそうではないことが多々ありますが、楽な道を歩まず、やり続けるだけで良いことですが、人々に感動を与えています。現在は、仕事も嫌では直ぐに辞めることができ、退職の連絡も代行業者に頼むことも可能です。好きな仕事でなければ直ぐに転職した方がよいのか、嫌でも続けた方がよいのか答えは分かりませんが、仕事とは何だろうと考えつつ、平凡な私でも陸上自衛隊という組織の歯車として何か役に立っていればいいかなと感じます。8月は定期異動ですが、異動される方々は新しい職務で頑張ってください。

## 東方男児 「必通精神」 第12ヘリコプター隊 後藤 海翔 3等陸曹

今月の東方男児は、第12ヘリコプター隊本部付隊通信班に所属する後藤3曹です。埼玉県所沢市出身の23歳。令和3年に自衛官としての道を歩み始め、令和5年第3陸曹



今月の東方男児は、第12ヘリコプター隊本部付隊通信班に所属する後藤3曹です。埼玉県所沢市出身の23歳。令和3年に自衛官としての道を歩み始め、令和5年第3陸曹

今月の東方男児は、第12ヘリコプター隊本部付隊通信班に所属する後藤3曹です。埼玉県所沢市出身の23歳。令和3年に自衛官としての道を歩み始め、令和5年第3陸曹

今月の東方男児は、第12ヘリコプター隊本部付隊通信班に所属する後藤3曹です。埼玉県所沢市出身の23歳。令和3年に自衛官としての道を歩み始め、令和5年第3陸曹